

静岡県学校保健研究大会

養護教諭の専門性 を活かした保健教育とは

神奈川県立保健福祉大学
高橋 佐和子

1

お伝えしたいこと
保健教育は楽しい
みんなでチャレンジしよう

あなたは誰のために、何を目指して保健教育をしていますか？

専門職として求められる
保健教育とは？

今の子どもに
必要な保健教育とは？

健康課題のアセスメント・健康行動理論

2

養護教諭の専門性とは？

養護教諭の課題解決につながる

養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する
調査研究協力者会議 （2023,文部科学省）

- 養護教諭や栄養教諭が自ら実施すべき業務とそれ以外の業務とが整理されないまま膨大な事務を個業（孤業）により処理せざるを得ない状況にある
- 今後の方向として、養護教諭の専門性を生かした独自の果たすべき職務を明確にする（養護教諭の標準職務の明確化）

3

専門性を見つめる視点

養護教諭は何のために何をする職能か

養護教諭の標準的な職務の内容及びその例（文部科学省通知,2023）

番号	区分	職務の内容	職務の内容の例
1	主として保健管理に関する こと	健康診断、救急処置、 感染症の予防及び環境 衛生等に関すること	健康診断の実施（計画・実施・評価及び事 後措置） 健康観察による児童生徒の心身の健康状態 の把握・分析・評価 緊急時における救急処置等の対応 感染症等の予防や発生時の対応及びアレ ルギー疾患等の疾病の管理 学校環境衛生の日常的な点検等への参画
		健康相談及び保健指導 に関すること	心身の健康課題に関する児童生徒への健康 相談の実施
2	主として 保健教育 に関する こと	保健組織活動に関す ること	めとした保健室の環境整備 学校保健計画の作成への参画 学校保健委員会や教職員の保健組織（保健 部）等への参画
		各教科等における指導 に関すること	各教科等における指導への参画（ティ ーム・ティーチング、教材作成等）

業務の効率化や最適化、効果・成果の最大化に向けて、他の教職員との役割分担や連携、外部人材の活用やICTの活用等を図ることが重要

養護教諭及び栄養教諭の標準的な職務の明確化を図り、養護教諭及び栄養教諭がその専門性を発揮し本来の職務に集中できるような環境を整備していただくようお願いします。

専門性を発揮
すべきは？⁴

専門職の要件

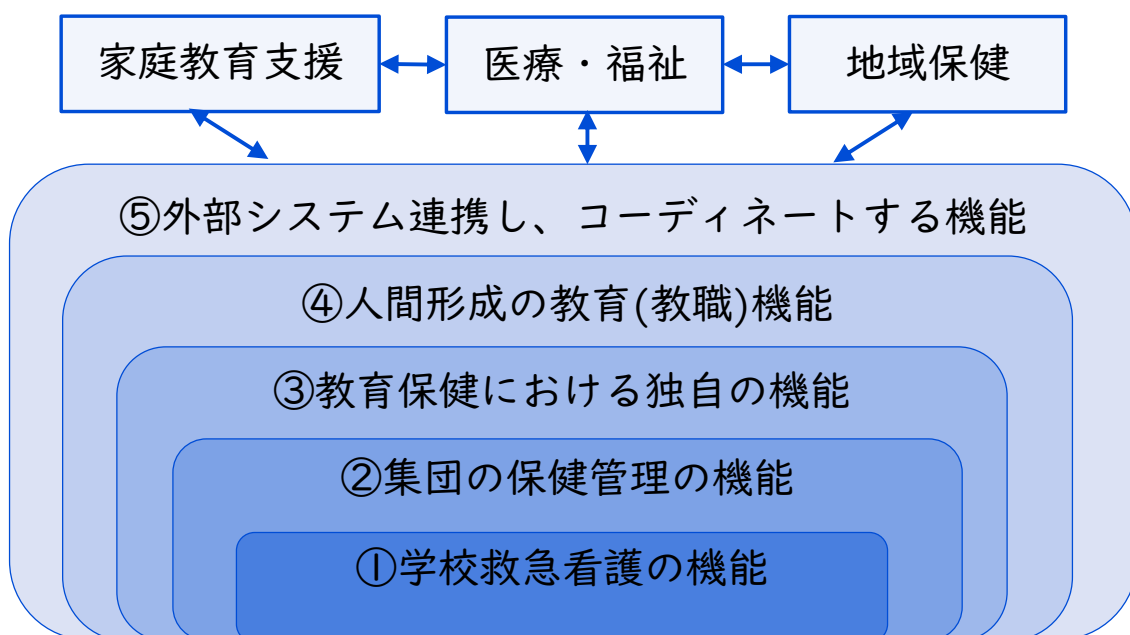
養護教諭に当てはめてみると…？

- ① **ユニーク**で明確で、社会的に不可欠なサービス
- ② 職務遂行における知的技術の強調
- ③ 長期の専門教育
- ④ 職務遂行における**広い範囲の自律**
- ⑤ 自律性の範囲内で行った判断と行為に対する**個人的責任**
- ⑥ 総合的な自己規制の職業団体

小倉学「養護教諭 その専門性と機能」1980

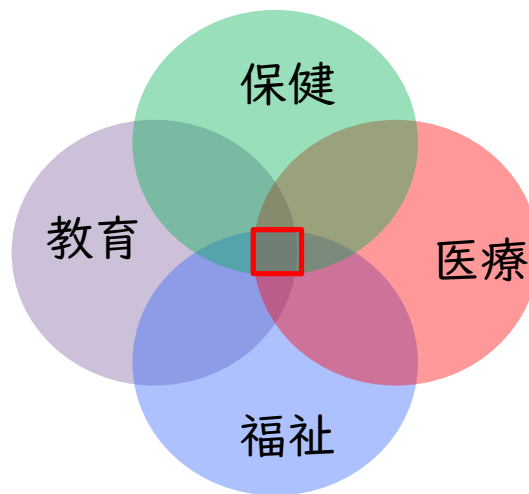
5

養護教諭の専門性の発展・拡大



小倉学作図を荒木田美香子が改変

養護教諭の専門性とは？



養護教諭の専門性：学校に所属する幼児・児童・生徒の健康に関する生きる力を最大にする

養護教諭の独自性：保健・教育・福祉・医療の統合

7

教育学

学習学

	教育学	学習学
教員	Teaching (ティーチャー) ● 個人主義モデ ● 競争原理 → Eラーニング への転換	Coach (コーチ) ● 個別最適な学び Facilitator (ファシリテーター) ● 協働的な学び
学生	Being Taught (Teachee) ● 受け身	Learning (Active learner) ● 自ら主体的に学ぶ

8

管理だけでは乗り切れない

「これはダメ」より「どうすべきか考えさせる」

- 管理過剰は不安を煽るだけ
3密は3ダメ
新しい生活様式は、禁止だらけ
- 安心させる声かけを
「手を洗っていれば安心」
「換気できたね！」
- 科学的根拠を提示し、考えさせる



禁止や指示ばかりでは、言われたことしかなくなる
自分で考えられなくなる



養護教諭の専門性を活かした保健教育とは？

1

人の体についての科学的な理解
→知識及び技能

2

自ら健康の知識を得る力（学び続ける・仲間とつながる）
→学びに向かう力、人間力

3

新たな健康課題に対応できる力
→思考力・判断力・表現力

行動変容させるには？

論理的思考・認知・認識

感情や情操

環境要因

ヘルスコミュニケーション



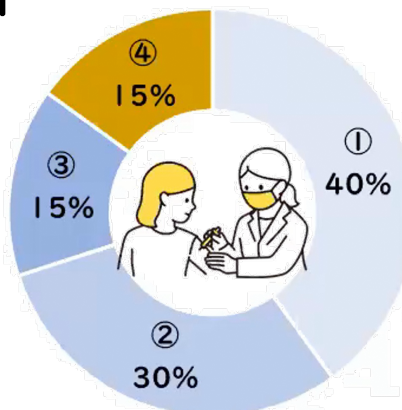
保健医療の専門家が、個人やコミュニティに対して、わかりやすく情報を提供するために対象に合わせたコミュニケーションの専門的な知識や技術を適用すること

<https://www.healthliteracy.jp>

学習成果に影響する要因

心理療法による効果の要因 (ミラー, 2000)

- ① 治療外要因：40%
- ② 治療関係要因：30%
- ③ 期待、希望、プラセボ要因：15%
- ④ モデルや技法要因：15%



学習成果の要因に置き換えると…

- ① 教育外要因：学び手が元々持っていた学習能力
- ② 教育関係要因：思いやり、励ましなどの学び手と教え手の関係
- ③ 期待、希望、プラセボ要因：ピグマリオン効果など
- ④ モデルや技法要因：教育手法

いろいろな方向からの
アプローチが必要

保健教育のヒント

① 課題の抽出

スクール・ヘルス・アセスメント

② 記憶に残す工夫

ギリギリまで内容を絞る
ピークとエンド

③ 理論の応用

自己効力感
精緻化見込みモデル

④ 教育方法

エンターテインメント・エデュケーション

Ⅰ 課題の抽出 (スクール・ヘルス・アセスメント)

データ収集と分析

健康課題を設定するために行われる情報収集・情報の評価・課題の発見・目標の設定のプロセス（荒木田）。

- 授業の効果の向上（目標の明確化）
- 管理職等を納得させる明確な根拠となる
- オーダーメイド感（校風、流行、先生）

15

あなたの学校の保健課題は？

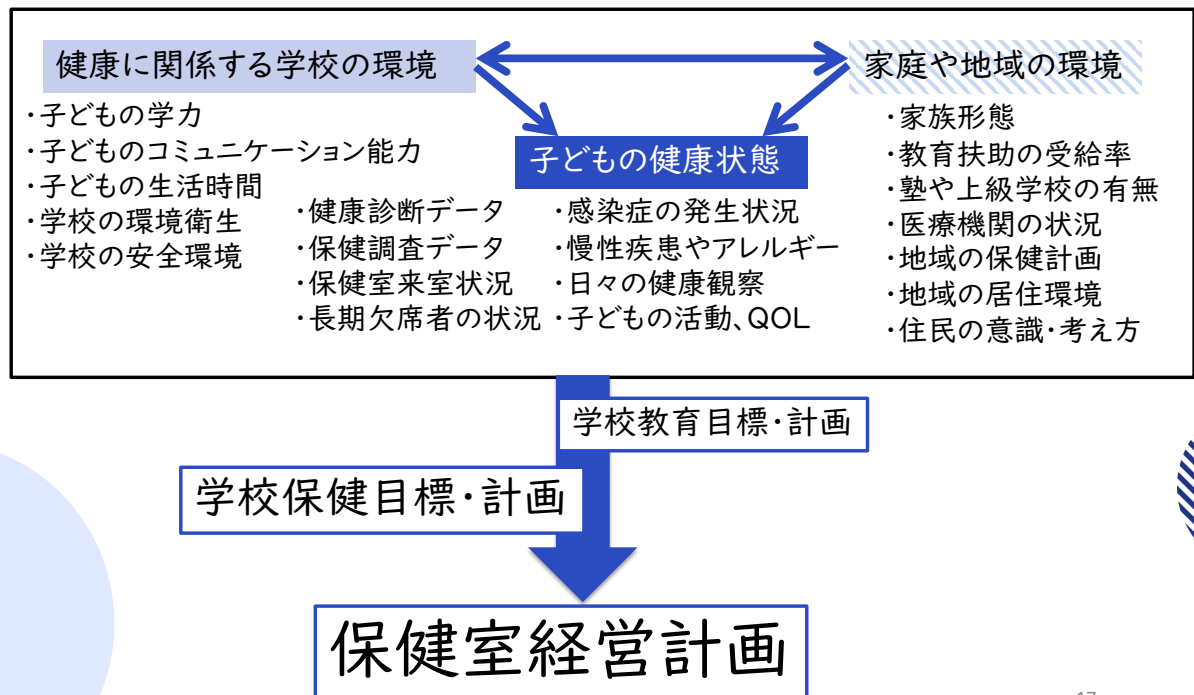
課題抽出の過程

- ① 地区の身体計測や運動、疾病の**実態をまとめ**、
県や全国平均と比較できる図にする（見える化）
- ② 図を見て「強み」と「弱み」を確認する
- ③ 自校の特徴から今取り組むべき課題を絞る
（優先順位）

▶ 保健教育の目標や方法を決める

16

SHAのためのエビデンス

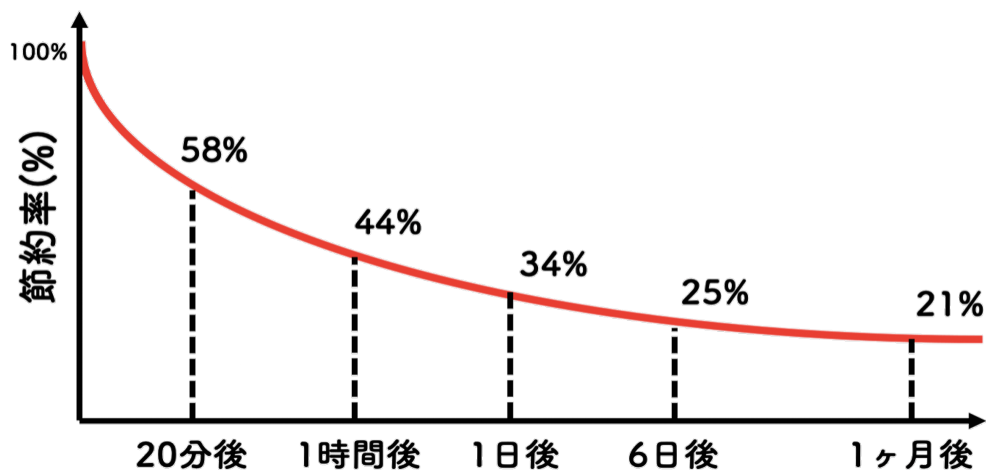


17

参考:「学校における養護活動の展開」,ふくろう出版.

2 記憶に残す工夫

エビングハウスの忘却曲線



18

2 記憶に残す工夫

- ギリギリまで内容を絞る
 - 優先順位がつけられないだけ？
 - ファットな保健教育に魅力はない
- フレームやモデルを活用
 - PREP法でスマートに
 - ピークエンドの法則

19

2 記憶に残す工夫

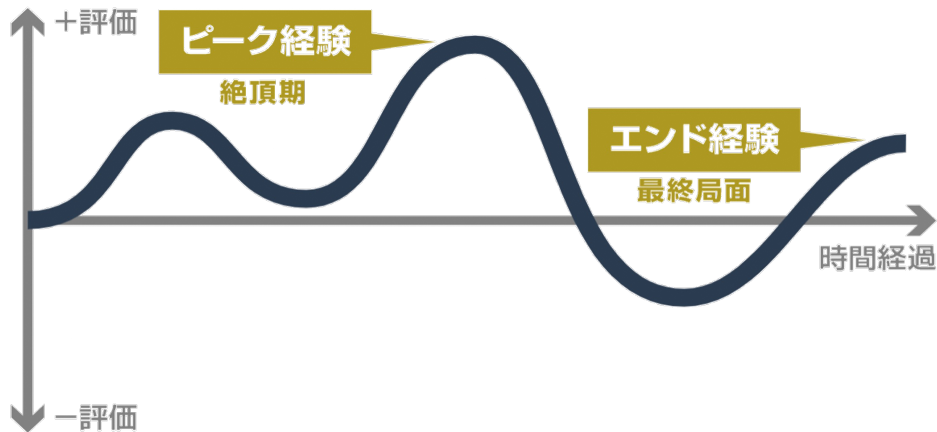
PREP法

- P : あなたが伝えたいポイント
- R : その理由
- E : 具体例を示す
- P : 主張のポイントを繰り返す

20

2 記憶に残す工夫

ピークエンドの法則



21

3 理論の応用：自己効力感

「やれる」という自信を持たせる
(行動変容につながる) (Bandura, 1977)

ある行動をうまく行うことができる「自信」
の感覚が強いほど行動を行う可能性が高まる。

22

3 理論の応用：自己効力感

自己効力感を高めるには？

- 成功経験：スモールステップ
- 言語的説得：褒める、認める
- 生理的情緒的状态：気持ちを整える
- モデリング：代理体験を示す

23

3 理論の応用：精緻化見込みモデル

Elaboration Likelihood Model (ELM)

対象者の納得がいくように説得し、行動変容を目指す筋道を示したモデル
(Richard E. Petty, John T. Cacioppo, 1980)

人に行動させるためには、中心的ルート（論理的関与）と周辺的ルート（感情的関与）の2つのパターンがある

24

4 教育方法

エンターテインメントエデュケーション

理論に基づくコミュニケーション戦略であり、望ましい個人、コミュニティ、組織、社会の変化を成し遂げるために、教育的、社会的な課題を意図的にエンターテインメント性の高いプログラムの企画、作成、普及の過程に織り込むこと

(Wang H, Singhal A, 2009)

- ドラマ・ゲーム
- 知らず知らずのうちに学ぶ
- 記憶が定着しやすい

25

4 教育方法

創造性と批判的な視点

- 創造性を高める
- 新しい体験、小さな挑戦を増やす
- 人との交流

▶ 完成の仕入れをしよう

26

ご協力をお願い

断り方を学ぶGPTs



感想を教えてください



<https://chatgpt.com/g/g-6852797c4eb48191a045f4def8b3de01-duan-rulian-xi-sahota>

27

おまけ：ナッジ理論（行動経済学）

文章の文面や表示方法等を工夫することで、行動科学の知見から、望ましい行動をとれるよう人を後押しするアプローチ。人が意思決定する際の環境をデザインすることで、自発的な行動変容を促す。

（Richard H. Thaler, Cass R. Sunstein, 2008）

- 正しい行動を選択させる戦略
- 気づかないうちに行動している
- バイアス（誘惑、つつい）を取り除く

28

おまけ：保健教育を評価してみよう

A R C Sモデル対象者がどれだけ意欲的に学習に取り組むことができたかという対象者の心の動き（学習体験）から教育自体の魅力を測定するモデル（JOHN M. KELLER, 1983）

- 注意（ATTENTION）：対象者の注意を引き，興味を引き出す
質問例：「興味を持てたか」「おもしろかったか」
- 関連性（RELEVANCE）：対象者自身と話の内容に関連があると思わせる
質問例：「役に立つと思うか」「自分に必要な話だと思うか」
- 自信（CONFIDENCE）：対象者に自信をつけさせる
質問例：「できそうだと思うか」「やってみようと思うか」
- 満足感（SATISFACTION）：教育を受けたことへの満足感
質問例：「参加して良かったと思うか」

ありがとうございました

まとめ

あなたにとって健康とは？

健康教育は子どもの命綱
子どもを「わかろうとする」
気持ちを健康教育に込めよう

おもしろ健康教育研究所
スキルラダー研究会

